

テネシー州、「テネシー・プロミス」プログラムの開始により
州立大学在籍者数が増加（11月24日）

テネシー州では、2025年までに州民の最低55%を大学学位保有者にするを目的としてビル・ハスラム知事（Bill Haslam）が立ち上げたイニシアティブ「ドライブ・トゥ・55（Drive to 55）」の一環として、州立2年制大学を無償とする「テネシー・プロミス（Tennessee Promise）」プログラムが開始され、同プログラムの影響が明確に表れているとのデータが明らかにされた。これによると、11月18日現在、「テネシー・プロミス」の下で2015年秋学期に州立2年制大学に在籍する学生数は1万6,291人で、州立大学1年生の在籍者数は、全体で前年同期比10.1%増という。また、コミュニティカレッジの新入生数は同24.7%増、テクニカルカレッジでは同20%増で、州立大学1年生の在籍者数は、2014年の約4万6,000人から約5万700人に増加している。

なお、本プログラムによる在籍学生数の変化に関するデータは、
<https://www.insidehighered.com/sites/default/server_files/files/TNPromiseYear1Numbers.pdf>からダウンロード可能。

Inside Higher ED, *Promise Provides Enrollment Boost*

<https://www.insidehighered.com/news/2015/11/24/promise-program-sharply-lifts-tennessee-college-freshman-enrollment>